

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ  
～2020年5月12日(火) 18時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

5月11日(月)～12日(火)

- 12日(火) 15時現在、州内感染者数は前日比1588人増(+3%)の4万7719人、うちサンパウロ市が2万8682人、オザスコ市が1318人、グアルーリョス市が1125人、サン・ベルナルド・ド・カンポ市が1122人と続く。州内死者数は同206人増(+6%)の3949人で、うちサンパウロ市が2405人。全体の致死率は8.3%、60歳以上の死者の割合は73.1%。感染が確認されているのは州内645市のうち424市(前日414市)、死者は186市(前日179市)。入院感染患者数は約9900人(前日9700人)。州内公立病院のICU占有率は69.1%(前日68.2%)、サンパウロ大都市圏内は同85.7%(前日89.6%)。
- 12日(火)の州の社会的隔離実施率は47%(前日48%)、サンパウロ市の実施率は48%(前日49%)。なお、同日の実施率トップは引き続きサン・セバスチャン市の63%。
- 11日(月)、サンパウロ州政府は、州内地方自治体代表との評議会(Conselho Municipalista)の第一回会合を開催した。同評議会には、州当局と州内各行政地域の代表都市の市長(16市長)が参加。同評議会では、今後、州内各地域での外出自粛規制の緩和や経済の再開に向けた議論・検討が進められる。
- 12日(火)、州保健局長の定例記者会見に同席したヴィニョリ州地域開発局長は、5月1日時点で州内で死者が確認された市は151市であったが、5月11日時点では177市に増加していると説明し、サンパウロ州全域でコロナウイルスの感染が急激に拡大していると懸念を表明。同局長はコロナウイルス対策における社会的隔離の実施とマスク着用の重要性を改めて伝達。
- 12日(火)、サンパウロ市は、バス車内におけるマスク着用義務に関し、バスターミナルにおいてマスク着用の監視と市民への啓発活動を強化したと発表。

2 マット・グロッソ州

5月7日(木)～12日(火)

- 12日(火) 17時現在、州内感染者数は前日比59人増の604人、うち州都クイアバ市が211人、ロンドノーポリス市が63人、ヴァルゼア・グランデ市が49人と続く。入院患者数は57人(うち35人がICU)。州内死者数は新たに20人目(45歳男性、高血圧症と糖尿病を患っていた)が確認された。州内の統一医療保健システム(SUS)に参加する州内病院におけるコロナウイルス感染患者向けのICU病床の空きは211床(占有率10.2%)、一般病床は644床(同1.5%)。
- 12日(火)、同州消費者保護団体(Procon-MT)は窓口対応を再開と発表。但し、電話で事前予約が必要。
- 9日(土)、クイアバ市は市公務員の在宅勤務期間を6月28日(日)まで延長すると発表。また5月17日(日)までに市内バスの運行本数を70%まで戻すとした。
- 8日(金)、同州検察はクイアバ市内の本部での窓口対応を11日(月)に再開と発表。但し、マスクの着用やアルコールジェルの使用、人との距離を1.5メートル以上保つ等の必要な対策を講じる。同日、同州交通局も11日(月)に窓口対応を再開すると発表。
- 8日(金)、同州政府は社会連帯の一環で、ヴァルゼア・グランデ市内の貧困層3500世帯を対象に、食料や清掃用品が入ったキットを配布したと発表。同州知事の夫人が配布に同行した。
- 7日(木)、クイアバ市は市内の救急病院(HPSMC)をコロナウイルス感染患者対応の指定病院にしたと発表。同病院は一般病床170床、ICU病床55床を備えている。

### 3 マット・グロッソ・ド・スル州

5月7日(木)～12日(火)

- 12日(火)午前8時現在、州内感染者数は前日比人20増の405人、うち州都カンポ・グランデ市が169人、トレス・ラゴアス市が71人、ギア・ロペス・ダ・ラグナ市が39人と続く。入院患者数は19人(うち9人がICU)。州内死者数は新たに12人目(62歳男性、ヴィセンチーナ市)が確認された。これまでにカンポ・グランデ市で実施したドライブスルー形式の感染検査数は1697人で、うち36人が陽性を示した。ドウラードス市では148人のうち6人が陽性。今後、コロンバ市内でも同検査を実施予定。なお、同州政府はこれまでの感染拡大防止策が奏功し、州内の感染者数及び死者数はブラジル国内の他州と比べて最も少ないと説明。但し、同州の社会的隔離の実施率は他州と比べて最も低くなっている。
- 11日(月)、同州政府は公的サービス関連の組合36団体と協議し、コロナウイルスの感染拡大に伴う影響により、公務員給与の上げは見送りと発表。
- 9日(土)、同州保健局はガス関連企業 Grupo Zahran より、計5万4千枚のマスクの寄付を受けたと発表。内訳はN95マスク1万3900枚及びサージカルマスク4万500枚。これらのマスクはカンポ・グランデ地域病院などで活用される。
- 8日(金)、カンポ・グランデ市は市民の運動に関する新たな取り決めに発表。自転車は他の自転車と20メートル、ウォーキングの場合は他者と5メートルの距離を取った上で許可するとの内容。また、屋内及び屋外のスポーツも参加者が同じ住居に暮らしている人の場合には制限なく活動を認めるとした。
- 8日(金)、同州政府は5日付州政令を通じ、宗教団体の活動は必要不可欠なものと公式に定めたと発表。
- 8日(金)、同州政府は、コロンバ市内のサンタ・カーザ病院にICU病床10床が設置されたと発表。同市は感染拡大防止に向けた経費として同州政府及び保健省より計276万リアルを受け取っている。
- 7日(木)、カンポ・グランデ市は8日(金)にゴミの分別収集を再開すると発表。 (了)